

NACCS業務資料

【当初輸入申告情報呼出し】



輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

令和7年10月更新

● 当初輸入申告情報呼出し業務について

- 当初輸入申告情報呼出し業務とは・・・・・・・・・・・・・・・・P4
- 当初輸入申告情報呼出し業務フロー・・・・・・・・・・・・P5
- DLI01 当初輸入申告情報呼出し（蔵出輸入申告等）・・・・P7
- DLI02 当初輸入申告情報呼出し（修正申告）・・・・・・P11
- DLI03 当初輸入申告情報呼出し（関税等更正請求）・・・・P16
- 当初輸入申告情報呼出し処理を行えなかった場合・・・・P 20
- 留意事項（重要）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P21

● 一括納付用明細データ関連依頼情報登録業務について

- 「一括納付用明細データ」等の再配信について・・・・・・P23
- 随時報出力依頼業務について・・・・・・・・・・・・・・P24

当初輸入申告情報呼出し業務 について

- 修正申告等の当初申告情報を必要とする業務において、システムに保存されている当初申告情報を呼出し、事項登録業務へ反映させることができます
 - DLI01: 蔵出輸入申告等
 - (※蔵出輸入申告、移出輸入申告、総保出輸入申告、再蔵入承認申請、再移入承認申請、再総保入承認申請
または蔵出輸入(引取・特例)申告)
 - DLI02: 修正申告
 - (特例修正申告を含む)
 - DLI03: 関税等更正請求
- 業務実施により、各呼出し業務に利用可能な「呼出し用申告等番号」を払いだします
 - DLI01: 輸入申告事項呼出し(IDB)業務に利用可能
 - DLI02: 修正申告事項呼出し(AMB)業務に利用可能
 - DLI03: 関税等更正請求事項呼出し(KKB)業務に利用可能

<留意事項>

- * 呼び出すことができるのは、以下のとおり。
 - ・DLI01/DLI03: 当初輸入申告等実施者
 - ・DLI02: **当初輸入申告等実施者以外も呼び出し可。**
- * 修正申告の情報又は一括特例申告の情報を呼び出すことはできない。
- * 更正の情報又は一括特例申告の情報を呼び出すことはできない。
 - ・運用については以下参照してください。

「電算関係税関業務事務処理要領」 税関手続関連 共通編 共通手続

第2章 共通事項 第12節 当初申告情報呼出し依頼関係手続

2 当初輸入申告情報呼出し(修正申告) 及び 3 当初輸入申告情報呼出し(関税等更正請求)



I. 当初申告情報呼出し処理 起動依頼

- DLI01/DLI02/DLI03の 各当初輸入申告情報呼出し業務を行う。
- 入力項目は、「処理区分コード:9」「当初申告等番号」「当初許可等年月日」。
(DLI02で当初申告実施者以外が呼び出す場合は上記に加え、「当初申告者」「B/L番号／AWB番号」を入力。)
- 入力者に対し、処理結果通知に併せ、「当初申告情報呼出し依頼情報」(SAD(海上)またはAAD(航空)4660/4671/4680)を返す。

II. デイレード処理

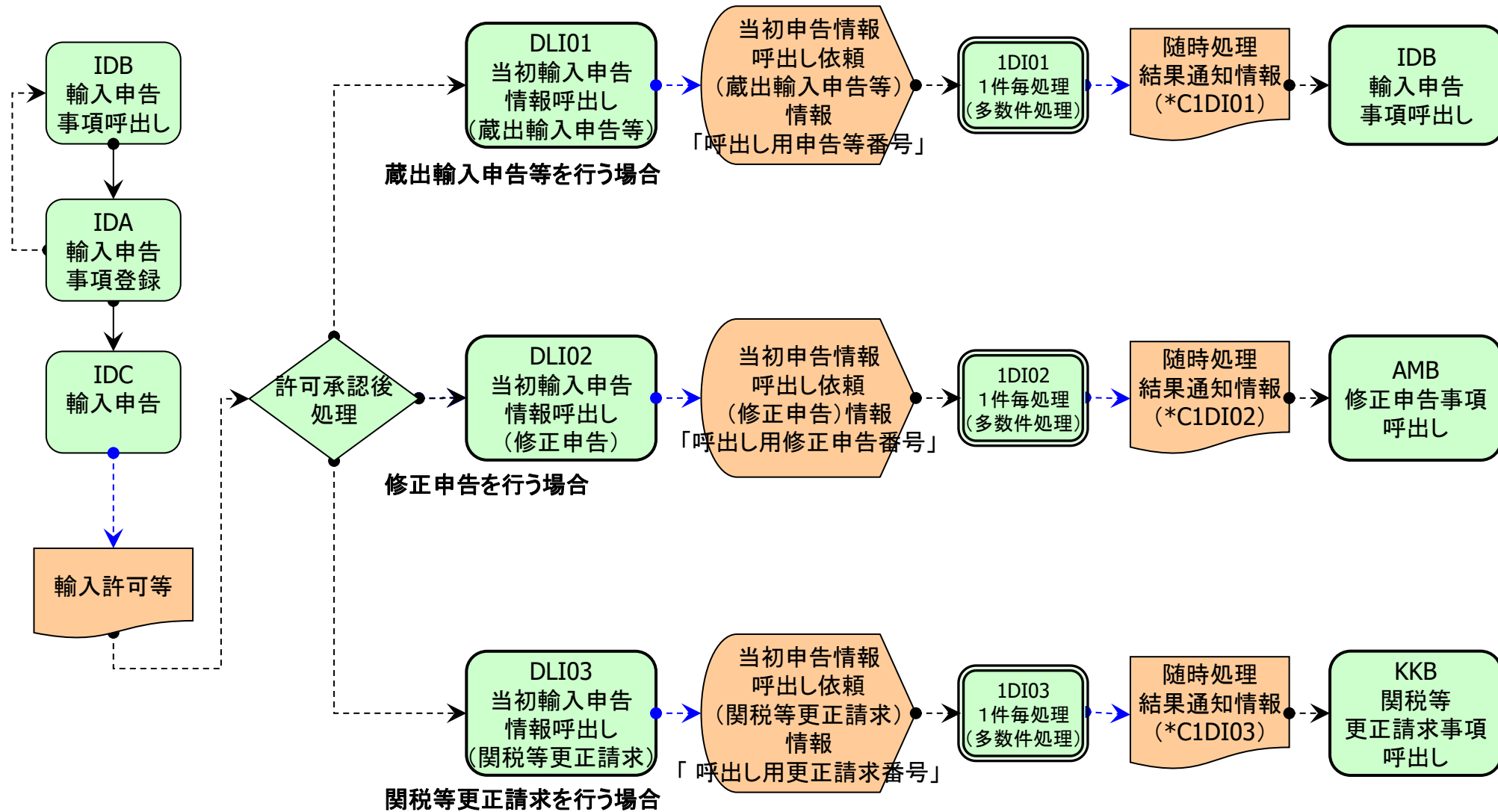
- 1DI01/1DI02/1DI03の 各当初輸入申告情報呼出し(多数件処理)が行なわれ、処理終了後「*C1DI01/同02/同03(随時処理結果通知情報)」を出力する。

III. 当初申告情報の利用

- IDB/AMB/KKBの各事項呼出し業務にて、DLI01/DLI02/DLI03業務にて払い出された「呼出し用申告等番号」を申告等番号欄に入力する。
- 当初申告情報呼出し処理の終了後であれば、当初申告情報が呼び出され、IDA/AMA/KKAの各事項登録業務の入力項目に補完される。
- 当初申告情報呼出し処理がまだ処理中であつたり、該当する呼出し情報が存在しない場合などは、エラーメッセージを返す。

当初輸入申告情報呼出し業務フロー②

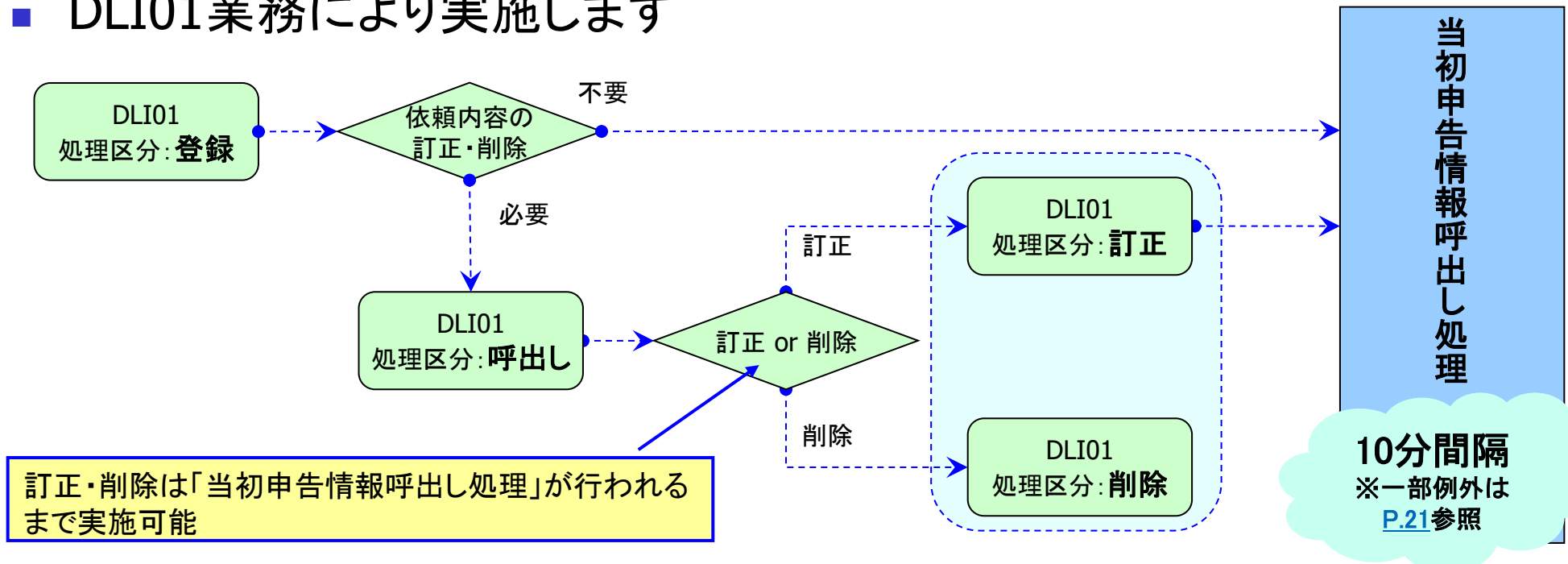
当初輸入申告等



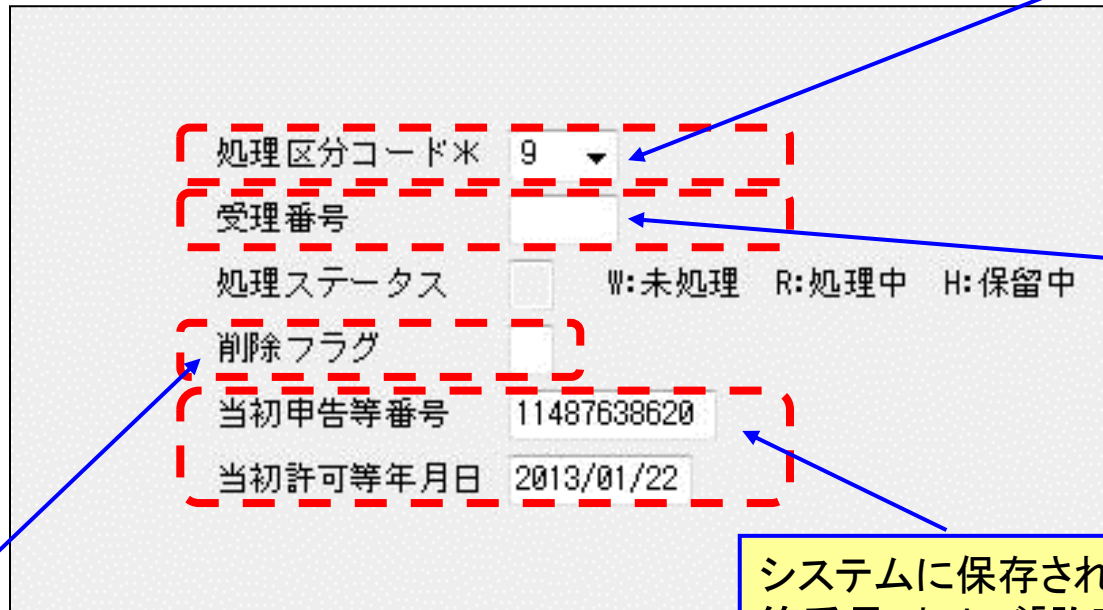
■ 蔵出輸入申告等

- 蔵出輸入申告等においてシステムに保存されている当初申告情報を利用する場合に、当初申告情報呼出し依頼情報の登録を行います
 - 依頼情報の変更・削除も本業務により行います
 - 業務送信の約10分後にシステム処理が実行されます
 - 当初申告情報呼出し処理～随時処理が正常処理終了後、IDB業務(輸入申告事項登録呼出し)において呼出しを可能とする「呼出し用申告等番号」を払い出します

■ DLI01業務により実施します



■ DLI01業務の入力内容について



処理区分コード* 9

受理番号

処理ステータス W:未処理 R:処理中 H:保留中

削除フラグ

当初申告等番号 11487638620

当初許可等年月日 2013/01/22

処理区分をコードで入力

9:登録
5:変更
3:呼出し
1:削除

処理区分コードが
5:変更/3:呼出し/1:削除
の場合、登録時に払い出さ
れた受理番号を入力

システムに保存されている当初申告情報の「申告
等番号」および「許可等年月日※」を入力
※当初申告日でないことに注意！

処理区分コード「5」でかつ削除
を行う場合は「D」を入力
※処理区分「1」と同様の機能

送信



登録情報の変更もしくは削除を行う場合、登録時に払い出される受理番号を
入力し、処理区分「3」として本業務を実施します



■ DLI01業務の送信結果について①(応答画面)

- 当初申告情報呼出し依頼(蔵出輸入申告等)情報(SAD4660 / AAD4660) および (*CDLI01)

システム識別
海上

入力情報特定番号

入力項目ガイド
9:登録
5:変更
3:呼出し
1:削除

処理区分コード* 9
受理番号 26121
処理ステータス W W:未処理 R:処理中 H:保留中
削除フラグ
当初申告等番号 11487638620
当初許可等年月日 2013/01/22

業務メッセージ

コード	内容	処置
COMPLETION		
W0001	当初申告情報呼出し処理にかかるシステム内部処理の受付を完了した。	不要

業務固有情報
26121
11487639210

送信時の処理区分が表示されます。
なお、3:呼出しを行った場合、応答画面から5:変更/1:削除へ処理区分を変更して再送信が可能です

登録時には受理番号が払い出されます

受付完了のメッセージが出力されます

業務固有情報には、「受理番号」と「呼出し用申告等番号」が出力されます

業務送信後、10分ほどお待ちください



■ DLI01業務の処理結果について②(通知情報)

- 「随時処理結果通知情報」(出力情報コード: * C1 DIO1) [EXZ型]

0000-0000-0000

12345

OK

1ANAC

1

yyyy/mm/dd

hh:mm

当初申告等番号xxxxxxxxxxxx

呼出し用申告等番号12345678901

受理番号

OK: 正常終了
ERR: 処理異常

随時報出力情報件数

随時処理終了日時

0000-0000-0000
04114
OK
1ANAC
1
2013/03/25
13:20
当初申告等番号:XXXXXXXXXX 呼出し用申告等番号:12345678901

OK



輸入申告事項呼出し(IDB)で利用する番号

随時処理結果通知情報の処理結果欄で「OK」を確認後、輸入申告事項呼出し(IDB)業務において『呼出し用申告等番号』により呼出しを行ってください



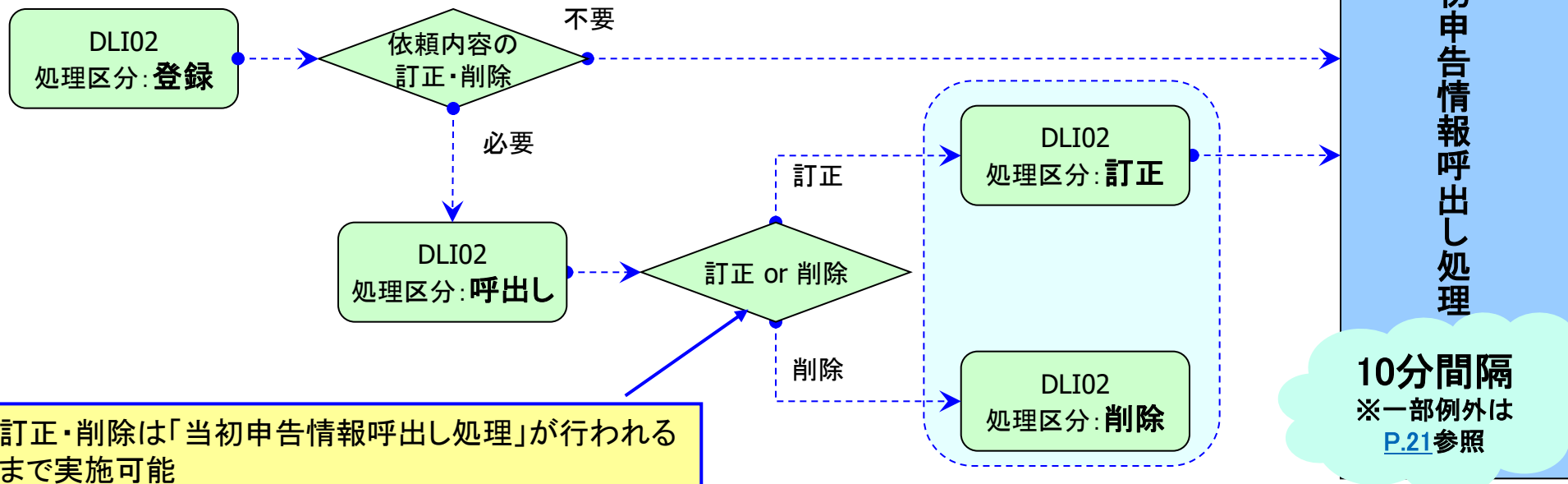
■ 修正申告

- 修正申告においてシステムに保存されている当初申告情報を利用する場合に、当初申告情報呼出依頼情報の登録を行います
 - 依頼情報の変更・削除も本業務により行います
 - 業務送信の約10分後にシステム処理が実行されます
 - 当初申告情報呼出し処理～随時処理が正常処理終了後、AMB業務(修正申告事項呼出し)において呼出しを可能とする「呼出し用申告等番号」を払い出します

■ DLI02業務により実施します

■ <留意事項>

- 第7次NACCSより、当初輸入申告等をした者以外でも呼び出しが可能となった
- 修正申告の情報又は一括特例申告の情報を呼び出すことはできない



■ DLI02業務の入力内容について

処理区分を入力

9:登録
5:変更
3:呼出し
1:削除

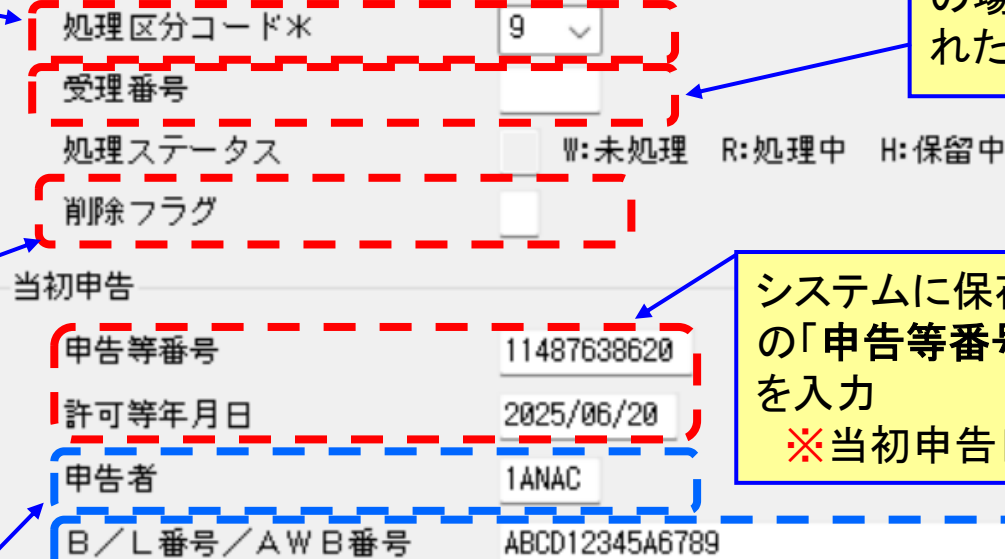
処理区分コードが
5:変更/3:呼出し/1:削除
の場合、登録時に払い出さ
れた受理番号を入力

処理区分コード「5」
でかつ削除を行う場
合は「D」を入力
※処理区分「1」と同
様の機能

当初申告を実施した利用者以外で、
当初申告を呼び出す場合は、当初
申告を実施した利用者コードを入力

当初申告を実施した利用者以外で、当初申
告を呼び出す場合は、当初申告を実施した
利用者コードを入力

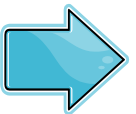
登録情報の変更もしくは削除を行う場合、登録時に払い出される受理番号を
入力し、処理区分「3」として本業務を実施します



The screenshot shows a web form for '当初申告' (Initial Declaration). It includes fields for '処理区分コード' (set to 9), '受理番号', '処理ステータス' (with options W:未処理, R:処理中, H:保留中), and '削除フラグ'. Below these is a section for '当初申告' information: '申告等番号' (11487638620), '許可等年月日' (2025/06/20), '申告者' (1ANAC), and 'B/L番号/AWB番号' (ABCD12345A6789). Red dashed boxes highlight the '処理区分コード', '受理番号', and '削除フラグ' fields. Blue dashed boxes highlight the '申告者' and 'B/L番号/AWB番号' fields. Arrows point from the surrounding text boxes to these specific fields.

システムに保存されている当初申告情報の
「申告等番号」および「許可等年月日※」
を入力
※当初申告日でないことに注意！

送信



■ DLI02業務の送信結果について①(応答画面)

- 当初申告情報呼出し依頼(修正申告)情報(SAD / AAD4671) および (*CDLI02)

システム識別 海上

入力情報特定番号

添付ファイル

ファイル名	サイズ
-------	-----

入力項目
9:登録
5:変更

業務メッセージ

コード	内容	処置
COMPLETION		
W0001	当初申告情報呼出し処理にかかるシステム内部処理の受付を完了した。	不要

業務固有情報
26121
11487639210

送信時の処理区分が表示されます。
なお、3:呼出しを行った場合、応答画面から 5:変更/1:削除へ処理区分を変更して再送信が可能です

登録時には受理番号が払い出されます

処理区分コード* 9

受理番号 26121

処理ステータス W W:未処理 R:処理中 H:保留中

削除フラグ

当初申告

申告等番号 11487638620

許可等年月日 2025/06/20

申告者 1ANAC

B/L番号/AWB番号 ABCD12345A6789

業務送信後、10分ほどお待ちください



■ DLI02業務の処理結果について②(通知情報)

- 「随時処理結果通知情報」(出力情報コード: * C1 DIO2) [EXZ型]

0000-0000-0000

12345

OK

1ANAC

1

yyyy/mm/dd

hh:mm

当初申告等番号xxxxxxxxxxx

呼出し用修正申告番号12345678901

修正申告事項呼出し(AMB)で利用する番号

受理番号

OK: 正常終了
ERR: 処理異常

随時報出力情報件数

随時処理終了日時

印刷プレビュー

```
00000-0000-0000
04114
OK
1ANAC
1
2013/03/25
13:20
当初申告等番号:XXXXXXXXXXXX 呼出し用修正申告番号:12345678901
```

OK



随時処理結果通知情報の処理結果欄で「OK」を確認後、修正申告事項呼出し(AMB)業務において『呼出し用修正申告番号』により呼出しを行ってください



■ 修正申告事項登録(AMA)業務への補完項目

申告番号

あて先官署* あて先部門* 都道府県*

申告者

住所

電話

税関事務管理人 受理番号

輸入取引者

申告理由* 会計検査 ☐ 国税通則法 ☐ 納付方法 ☐ 口座番号 予定年月日

社内整理用番号

記事

1 / 99

輸入申告番号 申告年月日 許可年月日 特例申告期限日

品名*

関税

課税標準額	課税標準数量	単位	品目番号	税率	税額
¥					¥
¥					¥

内国消費税

課税標準額	課税標準数量	単位	種別	税率	税額
(1) ¥					¥
¥					¥
(2) ¥					¥
¥					¥
(3) ¥					¥
¥					¥
(4) ¥					¥
¥					¥
(5) ¥					¥
¥					¥
(6) ¥					¥
¥					¥

当初申告の輸入者が補完されます

当初申告の欄部が補完されます

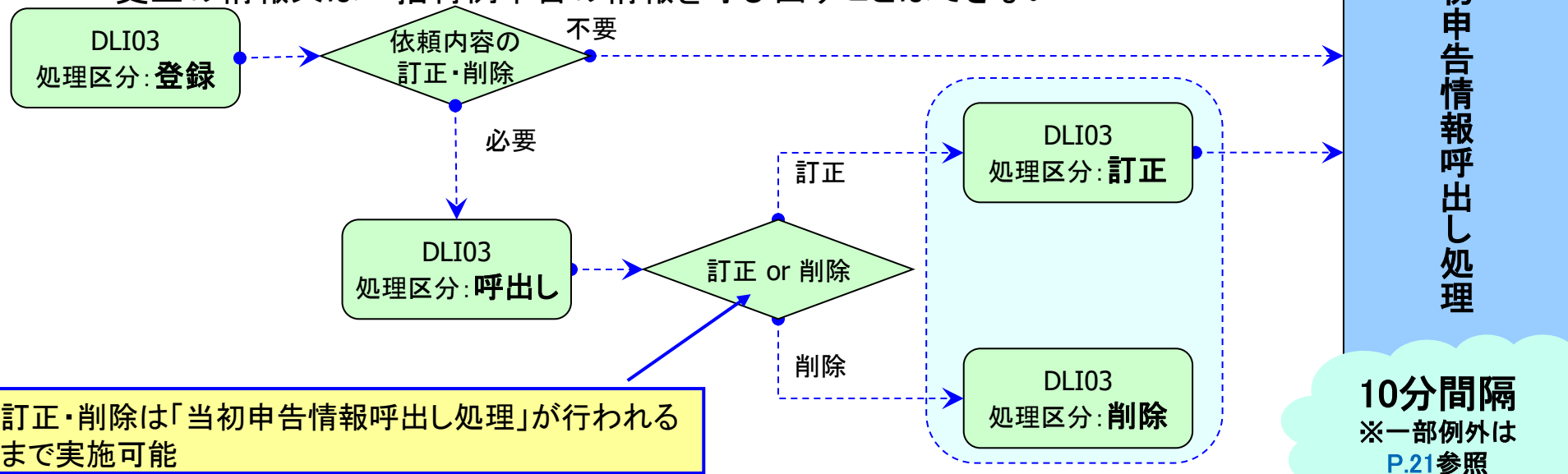
■ 関税等更正請求

- 関税等更正請求においてシステムに保存されている当初申告情報を利用する場合に、当初申告情報呼出し依頼情報の登録を行います
 - 依頼情報の変更・削除も本業務により行います
 - 当初申告情報呼出し処理～随時処理が正常処理終了後、KKB業務(関税等更正請求事項呼出し)において呼出しを可能とする「呼出し用更正請求番号」を払い出します

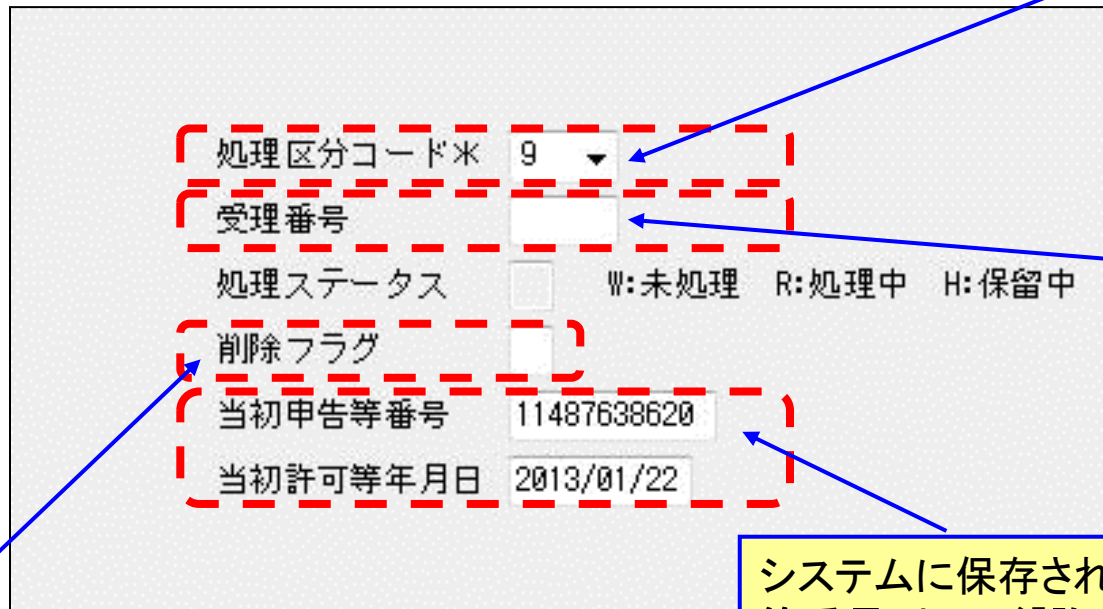
■ DLI03業務により実施します

■ <留意事項>

- 呼び出すことができるのは、**当初輸入申告等をした者に限る**
- 更正の情報又は一括特例申告の情報を呼び出すことはできない



■ DLI03業務の入力内容について



処理区分コード* 9

受理番号

処理ステータス W:未処理 R:処理中 H:保留中

削除フラグ

当初申告等番号 11487638620

当初許可等年月日 2013/01/22

処理区分をコードで入力

9:登録
5:変更
3:呼出し
1:削除

処理区分コードが
5:変更/3:呼出し/1:削除
の場合、登録時に払い出さ
れた受理番号を入力

システムに保存されている当初申告情報の「申告
等番号」および「許可等年月日※」を入力
※当初申告日でないことに注意！

処理区分コード「5」でかつ削除
を行う場合は「D」を入力
※処理区分「1」と同様の機能

送信

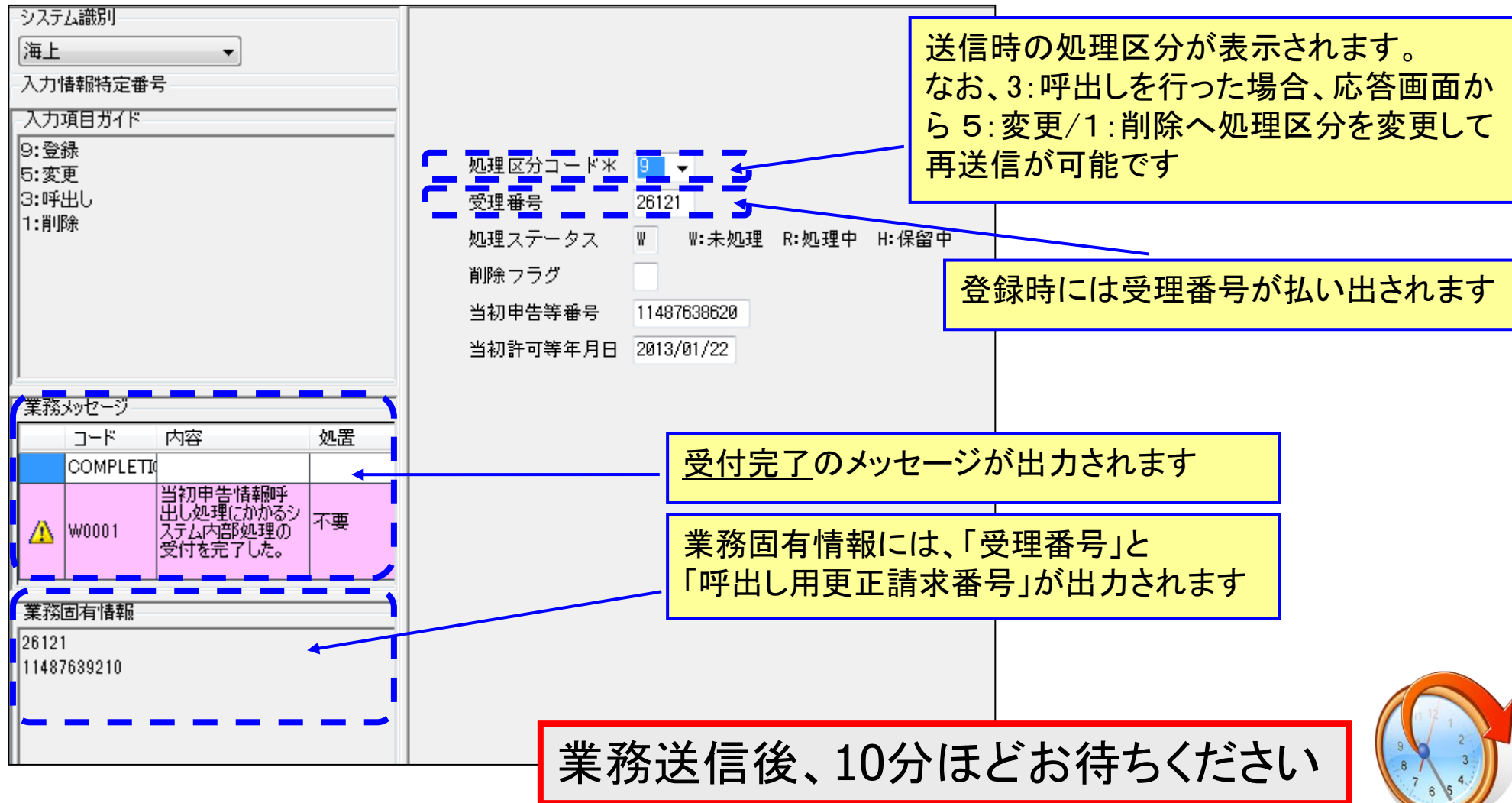


登録情報の変更もしくは削除を行う場合、登録時に払い出される受理番号を
入力し、処理区分「3」として本業務を実施します



■ DLI03業務の送信結果について①(応答画面)

- 当初申告情報呼出し依頼(関税等更正請求)情報(SAD4681 / AAD4680) および (*CDLI03)



The screenshot shows the DLI03 response screen. On the left, there is a sidebar with a dropdown menu for 'システム識別' (System Identification) set to '海上' (Maritime). Below it is '入力情報特定番号' (Input Information Specific Number). The '入力項目ガイド' (Input Item Guide) lists: 9:登録 (Registration), 5:変更 (Change), 3:呼出し (Callout), and 1:削除 (Delete). The '業務メッセージ' (Business Message) table has columns for 'コード' (Code), '内容' (Content), and '処置' (Action). The first row shows 'COMPLETION' with a blue background. The second row shows 'W0001' with a yellow warning icon and the text '当初申告情報呼出し処理にかかるシステム内部処理の受付を完了した。' (Internal system processing for initial declaration information callout processing is completed). The '業務固有情報' (Business Unique Information) section displays '26121' and '11487639210'. The main area contains fields for '処理区分コード' (Processing Division Code) set to '9', '受理番号' (Acceptance Number) '26121', '処理ステータス' (Processing Status) 'W' (with options W:未処理, R:処理中, H:保留中), '削除フラグ' (Delete Flag), '当初申告等番号' (Initial Declaration Number) '11487638620', and '当初許可等年月日' (Initial Permission Date) '2013/01/22'. Annotations with blue arrows point to various elements: the '処理区分コード' dropdown, the '受理番号' field, the 'COMPLETION' message row, the 'W0001' message row, and the '業務固有情報' section. Yellow callout boxes provide additional context: '送信時の処理区分が表示されます。なお、3:呼出しを行った場合、応答画面から5:変更/1:削除へ処理区分を変更して再送信が可能です。' (The processing division at the time of transmission is displayed. If you performed 3: callout, you can change the processing division to 5: change/delete from the response screen and retransmit.) and '登録時には受理番号が払い出されます' (At the time of registration, the acceptance number is issued). A red-bordered box at the bottom states '業務送信後、10分ほどお待ちください' (Please wait about 10 minutes after business transmission). A clock icon is in the bottom right corner.

システム識別
海上

入力情報特定番号

入力項目ガイド

- 9:登録
- 5:変更
- 3:呼出し
- 1:削除

業務メッセージ

コード	内容	処置
COMPLETION		
W0001	当初申告情報呼出し処理にかかるシステム内部処理の受付を完了した。	不要

業務固有情報

26121
11487639210

処理区分コード* 9

受理番号 26121

処理ステータス W W:未処理 R:処理中 H:保留中

削除フラグ

当初申告等番号 11487638620

当初許可等年月日 2013/01/22

送信時の処理区分が表示されます。
なお、3:呼出しを行った場合、応答画面から5:変更/1:削除へ処理区分を変更して再送信が可能です

登録時には受理番号が払い出されます

受付完了のメッセージが出力されます

業務固有情報には、「受理番号」と「呼出し用更正請求番号」が出力されます

業務送信後、10分ほどお待ちください

■ DLI03業務の処理結果について②(通知情報)

- 「随時処理結果通知情報」(出力情報コード: * C1 DLI03) [EXZ型]

0000-0000-0000

12345

OK

1ANAC

1

yyyy/mm/dd

hh:mm

当初申告等番号xxxxxxxxxxxx

呼出し用更正請求番号12345678901

受理番号

OK: 正常終了
ERR: 処理異常

随時報出力情報件数

随時処理終了日時

印刷プレビュー

```
00000-0000-0000
04114
OK
1ANAC
1
2013/03/25
13:20
当初申告等番号:XXXXXXXXXXXX 呼出し用更正請求番号:12345678901
```

OK



関税等更正請求事項呼出し(KKB)で利用する番号

随時処理結果通知情報の処理結果欄で「OK」を確認後、関税等更正請求事項呼出し(KKB)業務において『呼出し用更正請求番号』により呼出しを行ってください



■ 各DLI業務の処理結果について(呼出しを行えなかった場合)

- 「随時処理結果通知情報」(出力情報コード: *C1DIO1、*C1DIO2、*C1DIO3)

0	随時報出力情報件数
yyyy/mm/dd	随時処理終了日時
hh:mm	呼出しが行えなかった場合、呼出し用申告等番号が出力されません。呼出し用申告等番号が出力されない場合は、処理結果に対応するコード※が出力されます。
XXXXX - XXXX - XXXX	

※システム処理結果に応じ、以下のいずれかのコードが出力されます

○呼出し依頼に対する出力情報件数が0件の場合: **W0602-0000-0000**
→ 申告番号の入力が誤っているか、呼び出し可能期間(7年間)以前に輸入許可された申告番号である可能性があります。
また、当初輸入申告呼出し時に、当初許可等年月日を入力していますか？
* 当初申告日でないことに注意！

○当初申告を行った利用者以外が呼出しを行った場合: **W0601-0000-0000**
→ 当初申告を行った通関業者(呼出し可能な利用者コード)ではありません。

随時処理結果に申告番号が出力されない場合は呼出しが行われていません。
対象の当初申告番号が、呼出し可能な番号であるか再度確認してください。



✓ 留意事項(重要)

- ✓ 修正申告および関税等更正請求の当初情報と呼出すことはできません
- ✓ DLI01/DLI03においては、当初輸入申告を行った者(利用者コード)以外は呼出しを行えません
- ✓ 当初申告の輸入等許可日の翌日12:00以降より呼び出し可となります。



呼出し対象外の場合は、従来どおり事項登録業務において当初輸入申告情報を入力する必要があります

✓ その他留意事項

- ✓ システム処理は基本的に24時間行われ、10分程度で呼出し処理が実施されますが、
下の時間は例外となります。

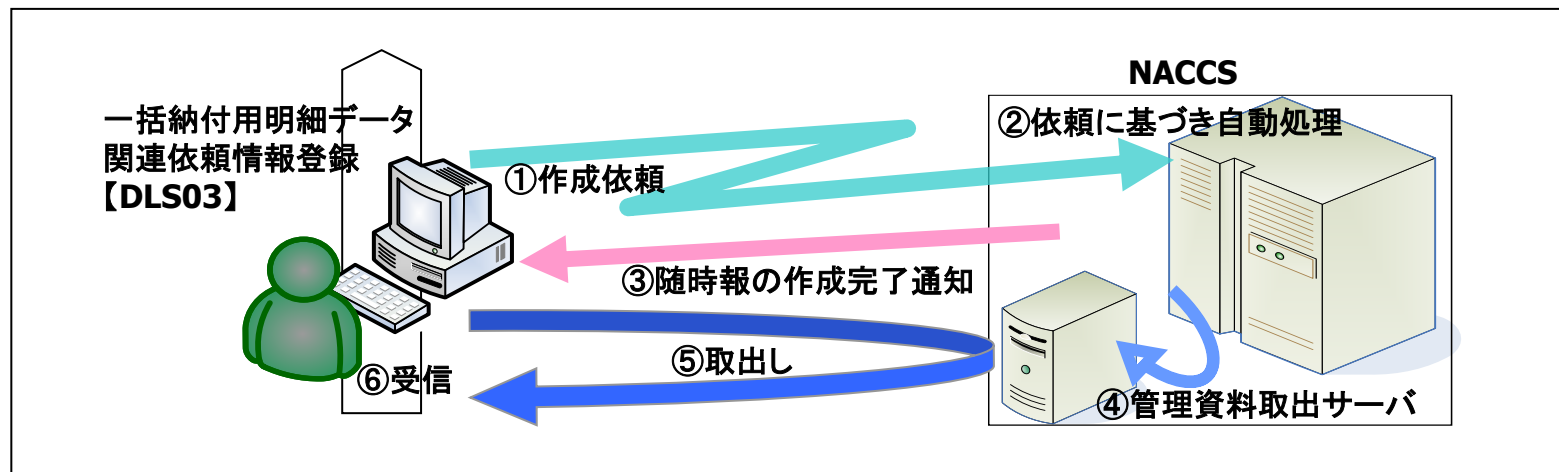
大項目	制限時間帯	制限時間後の処理起動時間
通常時	①毎日 19:50 ~ 20:00 ②毎日 23:50 ~ 00:00	① 20:10 ② 00:10
保守前日	①保守日前日 21:50 ~ 22:20 ②保守日前日 22:50 ~ 23:20	① 22:30 ② 23:30
保守日	奇数月第3日曜 02:20 ~ 02:30 (02:30 ~ 05:00までは保守時間帯のためDLI業務自体送信不可)	05:00

- ✓ 呼出し依頼が集中するなど、処理完了まで10分以上かかる場合があります
- ✓ 当初申告情報呼出し可能期間は、当初申告情報の原本保存期間(7年間)となります
- ✓ 複数の当初申告情報を、修正申告および関税等更正請求の欄部に一括して呼び出すことはできません

一括納付用明細データ関連 依頼情報登録業務について

- 一括納付用明細データ関連依頼情報登録業務について
 - 随時報である「一括納付用明細データ」、「一括納付用明細情報」及び「一括納付用明細総括データ」の取り出しを行います。
 - 「一括納付用明細データ(民用)関連依頼情報登録・変更(DLS03)業務」で行う事が可能です。

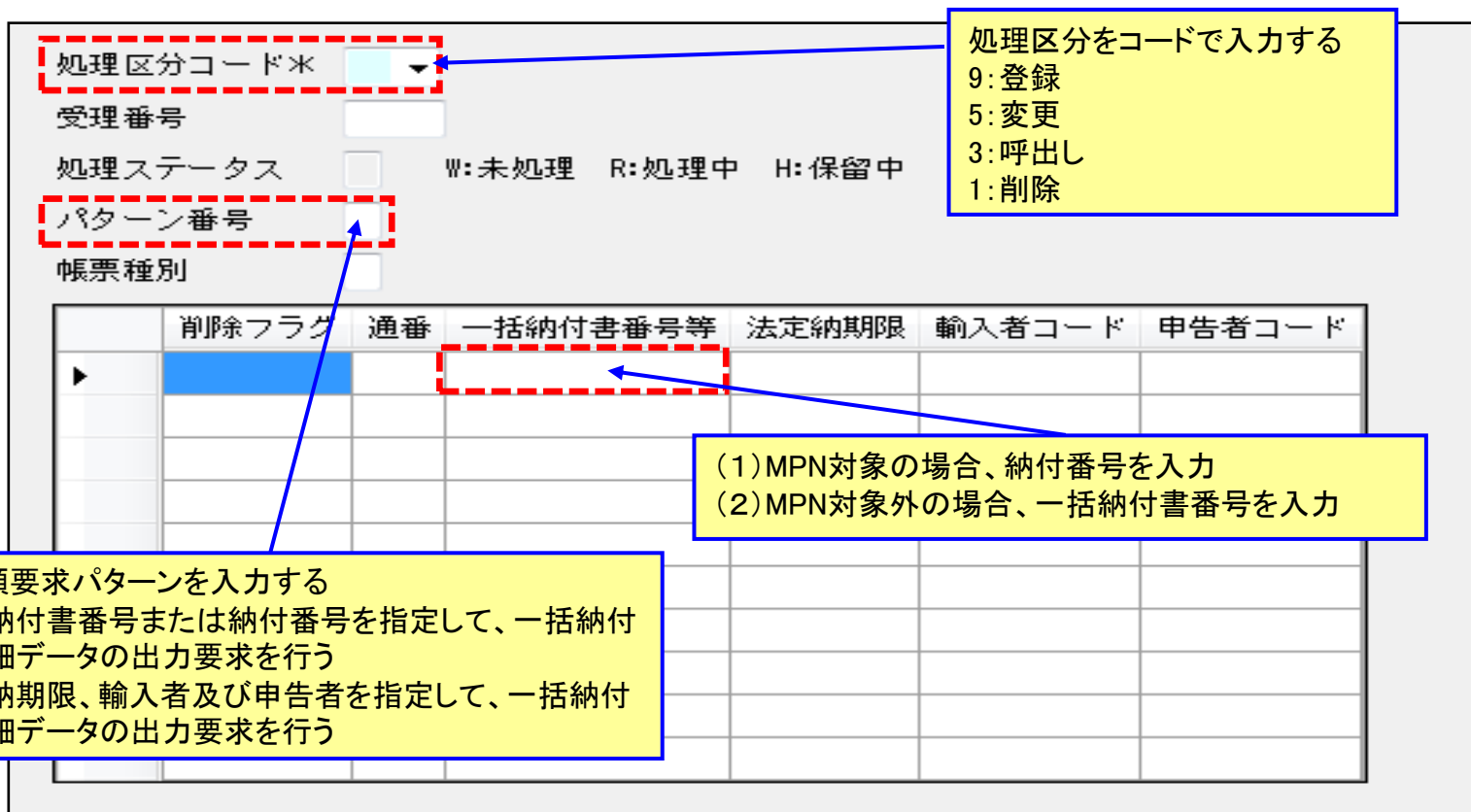
※出力依頼可能期間は、一括納付用明細データ等(月報)配信の翌日から翌々年末日までとなります。



当明細データの配信日から62日以内であれば、DLS03業務ではなく、「管理資料再取り出し」により取得することが可能です。



■ 一括納付用明細データ(民用)関連依頼情報登録・変更



処理区分コード*

受理番号

処理ステータス ☐ W:未処理 R:処理中 H:保留中

パターン番号

帳票種別

削除フラグ	通番	一括納付書番号等	法定納期限	輸入者コード	申告者コード
▶					

処理区分をコードで入力する
9:登録
5:変更
3:呼出し
1:削除

出力依頼要求パターンを入力する
1:一括納付書番号または納付番号を指定して、一括納付用明細データの出力要求を行う
2:法定納期限、輸入者及び申告者を指定して、一括納付用明細データの出力要求を行う

(1)MPN対象の場合、納付番号を入力
(2)MPN対象外の場合、一括納付書番号を入力